

教育委員会だより

第7号
2017.11.1

私たちの大切な宝である子どもたちが、夢や希望を持ち、持続可能な社会づくりの担い手となるよう、教育委員会や各学校はさまざまな取り組みを行っています。その「今」を紹介していきます。



もうすぐ開催！九州初！

第9回ユネスコスクール全国大会

―持続可能な開発のための教育(ESD) 研究大会―

●とき

12月2日(土)

開会 午前10時(9時15分より受け付け)
閉会 午後5時15分

●ところ

文化会館

大会テーマ

我が国を最先端の持続可能な社会に
―ESDのゴールを目指して―

【主催】

文部科学省／日本ユネスコ国内委員会

【共催】

NPO法人日本持続発展教育推進フ
ォーラム／大牟田市／大牟田市教育
委員会／公益財団法人ユネスコ・ア
ジア文化センター／公益社団法人日
本ユネスコ協会連盟

主な内容(予定)

- ◇ESD関連企業・団体による展示
 - ◇今後のESD推進に関する施策説明(文部科学省)
 - ◇特別講演
「国際的なユネスコスクールの動向を学ぶ」(ユネスコ本部教育局)
 - ◇ランチョンセッション
 - ◇分科会(喫緊の課題とESD)ワークショップ／テーマ別交流研修会(並行開催)
 - ◇パネルディスカッション
「50年後の社会に向けたESDによる人材育成」
 - ◇全体会
ユネスコスクール・ネットワー
ク化に向けた取組
 - ◇第8回ESD大賞表彰式
- ※事前に参加登録が必要です。
問合せは指導室(☎412861)へ

●ESDちいき講座を開催しました

市立学校の子どもたちが学んでいるESD(持続可能な開発のための教育)やユネスコスクールについて、広く市民の皆さんに知ってもらうため、地区公民館と「えるる」を会場として「ESDちいき講座」を全8回開催し、136人が受講しました。

受講した皆さんは、ESDや学校教育への関心が高く、たくさん質問や意見をもらいました。



講座は7地区公民館とえるるで行いました

意見の一部を紹介します

・これからの大牟田市、日本、世界のために役立つ人間を育成するのがESDだと分かりました。また、多方面の分野で、各学校が特色ある取り組みをされていることも分かりました。

(手鎌地区公民館)

・次世代を担う子どもたちにとって、欠かせない取り組みだと思います。世界的視野を持ち、地域で活動できる子どもを育てることこそ、これからの教育に必要なだと思います。

(三池地区公民館)

・これから先の子ども達もそうですが、地域を巻き込んでいくように、また、少しでもみんなに目を向けてもらえるように、ESDの取り組みが進んでいくといいなと思います。

(中央地区公民館)

・何か自分にできることはないかなと、小さなことから始めようと思いました。ESDを難しく考えていましたが、話を聞いて身近なものになりました。

(勝立地区公民館)

大牟田の未来に向けてく子ども議会

未来を担う市立中学校と特別支援学校の生徒が「議員」となり、「これから大牟田のまちづくり」をテーマに市当局と議論する「市制100周年記念子ども議会」を8月25日に開催しました。

●学校や地域の特徴を生かして

生徒たちは、5月上旬から何回も話し合い、学校や地域の特徴を生かしながら、自分たちの言葉で、ふるさと大牟田を思った質問や提案を考えました。その多くが、日頃から学んでいるESD（持続可能な開発のための教育）の視点を踏まえたものになっていました。

学校名	質問項目
松原中学校	環境に優しいエコ活動の推進
宅峰中学校	災害に強い大牟田のまちづくり
宮原中学校	大牟田市の活性化のための取り組み
歴木中学校	交通ルールを守る安心・安全なまちづくり
田隈中学校	大牟田市を訪れる観光客を増やす取り組み
特別支援学校	特別支援学校のいろいろな交流の継続
白光中学校	高齢者に優しいまちづくり
橘中学校	大牟田市の文化芸術の充実
甘木中学校	ジャー坊を活用したまちの活性化

※順番は当日の質問順

●頼もしい生徒たちの姿



演壇に立って堂々と発言

当日は議長も生徒が務めました。生徒たちは、議場の厳粛な雰囲気の中でも落ち着いて堂々と発言し、頼もしい姿を見せてくれました。市当局も実際の議会と同じように、真剣に答弁しました。

傍聴席では、各小学校の6年生が、議論の様子をやはり真剣なまなざしで見守っていました。

今回の子ども議会は、生徒たちと市当局にとって、これからの本市のまちづくりを考える上で、大変貴重な機会となりました。

オールイングリッシュで！くチャレンジスクール

学力向上のための新しい取り組みとして、市立小学校の6年生を対象に、「チャレンジスクール（英語で話そう!）」を8月25日に大牟田中央小学校で開催しました。

●英語でのコミュニケーションを楽しむ

この「チャレンジスクール（英語で話そう!）」は、教育委員会の重点事業の一つである「大牟田学力ブラッシュアップ推進事業」の一環として、今年度初めて開催したものです。

市立小学校から6年生23人が参加し、英語だけを使ったコミュニケーションに楽しくチャレンジしました。



行きたい国をお互いに英語で紹介

●「読む」・「書く」にもチャレンジ

外国語講師や外国語研究委員会の先生たちの指導のもと、児童たちは、会場を飛行機の中に見立てて、英語で飲み物を注文したり、行きたい国や見たい名所などを自分で英語で書いた「オリジナルパスポート」を使いながら、お互いに英語で紹介し合いました。

参加した児童たちは、英語への興味や関心をさらに高めることができました。

■新学習指導要領を見据えて

文部科学省が今年3月に公示した新学習指導要領では、32年度から、小学校5・6年生の「外国語活動」が教科「外国語」に変わり、「読む」・「書く」の学習も始まります。

教育委員会では、このことを見据えて、児童がいっそう英語に慣れ親しみ、生きた英語の力を身に付けることができるよう取り組んでいきます。

■問合せ 教育委員会事務局総務課
教育みらい創造室（☎412867）